

2009 年度青島日本人会 総会 議案書

2009 年 4 月 18 日（土） 16：30～17：30

於：香格里拉大飯店

第 1 号議案 2008 年度事業活動報告

（1）全般

（2）商工会

（3）生活文化会

（4）青島日本人学校支援委員会

第 2 号議案 2008 年度会計報告

第 3 号議案 2008 年度会計監査報告

第 4 号議案 青島日本人会規約改正

第 5 号議案 2009 年度理事及び監事選任

第 6 号議案 2009 年度事業活動計画

（1）全般

（2）商工会

（3）生活文化会

（4）青島日本人学校支援委員会

第 7 号議案 2009 年度収支予算案

以上

一) 全般概況

青島日本人会会長 大谷吉治

I) はじめに

会員の皆様。いつも日本人会、日本人学校の運営に一方ならぬご支援ご協力を賜り誠に有難うございます。衷心より厚くお礼申し上げます。

とりわけ 未曾有の経済危機の中であって、不慣れな外地で経営を任されている皆様のご苦勞はいかばかりかと存じます。

青島日本人会におきましても、ここ数年、順調に伸びてきた会員数が、今年はほぼ横這いとなり、撤退企業や日本人駐在員の不在により退会するといった企業も幾つか出て参っております。

さて、08年は北京オリンピックの開催により青島市がヨットの会場になることからインフラ整備がされ、将来的に国際都市として発展していくという夢のある高揚した気分の中で明けました。

しかし、年初めの餃子事件に始まり、原油や穀物のとどまるところを知らない値上がり、加えて中国の労働法、社会保険の改訂などが経営に重くのしかかり、加工貿易の基地として選択し建設した進出製造業の多くに企業の存続危機を招くところまで至りました。

さらに、四川地区の大地震。オリンピック後に起こった金融危機による急激な為替の変動、需要の落ち込みで多くの企業が先の見えない中にあることご周知の通りであります。

2) 青島日本人会の組織

一方、そのような大変厳しい経済情勢の中であって、青島日本人会におきましては、記念すべき年となりました。10月に念願でありました日本人学校の新校舎が完成し、宮本全権大使が出席されて開校式を挙行。また、1月に在青島日本国総領事館が開設されました。青島に住む日本人社会のいわばハード面が完成したことであります。

私は2003年から6期6年の会長を勤め、公約した総領事館、日本人学校、ジェットロの3機関の青島開設がお蔭様で完成しました。ここに公約どおり勇退し、次にバトンタッチしたいと思います。改めまして皆様の多大なるご支援、ご協力に感謝するものであります。

各セクションの報告と課題は今から担当において報告いたしますが

来年は青島日本人会の20周年の記念すべき年となります。ハード面の充実はソフト面の企画、実行が大きな課題となってきます。皆様よりお知恵を頂いて、時代が低調な時こそ元気で活発な日本人社会を創っていきたいと思います。どうか、どしどし活発なご意見を寄せてください。そして青島日本人の在住者が増え続けるように益々のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第1号議案

(1) 2008年度青島日本人会 事業報告 (全般)

① 全般的活動

4/11	青島日本人学校 第5回入学式	(小学部10名、中学部7名)
4/19	定例総会および懇親会	(於；麗晶大酒店)
7/5	第一回流通・サービス部会	(於；クラウンプラザ)
7/16	第一回機械・電機部会	(於；東暉国際)
7/24	第一回繊維部会	(於；クラウンプラザ)
7/26	第一回食品部会	(於；国敦大酒店)
8/25	青島日本人学校 新校舎 開校式	
9/20-21	日本大使館領事出張サービス	(於；日本人会事務所)
9/20	第二回流通・サービス部会	(於；海情大酒店)
10/15	青島日本人学校竣工式	(於；新校舎体育館)
10/17	企業経営セミナー	(於；クラウンプラザ)
10/21	第二回食品部会	(於；麗晶大酒店)
10/26	青島日本人会 運動会	(於；新校舎体育館)
11月	給与調査 (JETROと共催)	
11/14	第二回繊維部会	(於；クラウンプラザ)
11/20	第三回食品部会	(於；クラウンプラザ)
11/21	第一回商工会講演会 (協力：PWC) 「中国の会計・税務セミナー」	(於；クラウンプラザ)
12/20-21	日本大使館領事出張サービス	(於；日本人会事務所)
1/17	2009年度青島日本人会新年会	(於；香格里拉大飯店)
2/20	第二回商工会講演会 (協力：PWC) 「移転価格税制セミナー」	(於；クラウンプラザ)
3/13	第三回繊維部会	(於；クラウンプラザ)
3/13	青島日本人学校の卒業式	(小学部8名、中学部4名)
3/21	第三回流通・サービス部会	(於；クラウンプラザ)
3/28-29	日本大使館領事出張サービス	(於；仮領事館事務所)
3/31	新型インフルエンザ対策セミナー	(在青島日本総領事館と共催) (於；クラウンプラザ)

② その他の主な関連行事

4/7	日系団体代表者会議
7/21	聖火リレー
8/8-24	オリンピック開催
11/10	中国日本商会 総会

以上

(2) 2008年度 商工会 活動報告

商工会会長
飛坂 有三

① 全体報告

(1)活動実績

- 第1回 10/17 企業経営セミナー「在中国日系企業が注意すべき問題点とその対策」
(協力：大地法律事務所&日本国際交流基金会北京日本文化センター) 出席者 108名
- 第2回 11/21 中国の会計・税務セミナー「移転価格税制同時文書化規定について」
(協力：PWC) 出席者 104名
- 第3回 2/20 移転価格税務セミナー「特別納税調整実施弁法について」(協力：PWC)
出席者 83名

(2)2008年度活動報告

2008年度は前年に引き続き法改正が相次いだ事から、企業内部統制規範・移転価格税制・同時文書化規定及び特別納税調整実施便法(移転価格税制)対応へのセミナーを開催し、多くの会員の参加がありました。

10月17日の企業経営セミナーでは、日本国際交流基金会北京文化センターのご厚意により、「日本企業の社会貢献活動」のセミナーも併せて実施する事が出来ました。これらセミナーにおいては、プライス・ウォーター・ハウス・クーパーズ・大地法律事務所からの全面的なご協力を頂きました。

また、政府機関・他国の地域商工組織との交流を進める一方、JETROとの協力により事業環境研究会を実施、市政府・関係機関への事業環境改善への提言を行いました。これら提言のうち、青島市で企業売上げに対して課税されている河道工程費の軽減・撤廃については、本年1月より税率が0.1%から0.05%へと半減された事は特筆すべき成果と考えております。

JETROと共同での給与アンケートも実施しました。

(3)2009年度活動の抱負

2009年度は、非常に厳しい環境でのスタートとなり、先行き不透明感が濃い状況です。

については、会員企業がこの環境を乗り越え発展されて行く事を応援すべく、法務・財務・税務・労務そして危機管理等の各企業共通のテーマから、タイムリーなものを取上げてのセミナー開催と共に、出来れば相談会も開催する事を考えております。又、市政府・機関並びに他国商工組織との交流も更に進め、事業環境研究会の活動も通じて、関係機関への提言を進めて行きたいと考えています。又、JETROと共同での給与アンケートも継続していく考えです。

② 部会報告

1) 機械・電機部会

- ・第1回 7月16日(水)
- 場 所：東暉国際ホテル会議室
- 議 題：i 会員各社の自己PR
- ii 日本人会・商工会の活動状況報告
- iii 各社の課題・問題点の討議
- iv その他

2) 繊維部会

①2008年度開催実績

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 第1回 7月24日 | クラウンプラザホテル会議室 | |
| 第2回 11月14日 | クラウンプラザホテル会議室 | 出席者 36名 |
| 第3回 09年 3月13日 | クラウンプラザホテル会議室 | 出席者 47名 |

②2008年度活動報告

繊維部会では、部会会員企業様の情報共有の場として、少しでも皆様の経営活動の参考になることを目的として運営しております。毎回、皆様の御意見をもとに、できる限り各社が共有できるテーマを取り上げております。

2008年度は、最低賃金、新労働契約法、雇用問題、輸出増徴税、工会法、投資環境、経済情勢など、その時に応じたトピックスをテーマとし、悩みの共有やそれに対する参考意見など、会員各社様の活発な意見交換により、繊維部会をより良い情報共有の場とすることができました。

③2009年度の抱負

2009年度も引き続き同様の目的を持ち部会を運営して参ります。特に本年度は、昨年の金融危機以来世界的な市況低迷が深まり、経済活動に厳しい状況が予想されますが、現状をしっかりと捉え、会員各社様の情報共有の場となることにより、皆様の経営活動に少しでもお役に立てる部会としてゆきたいと考えております。

3) 流通・サービス部会

①総括

流通サービス部会は、他分科会に比してその業態属性が多岐にわたることから、商工会分科会の中でも最大部会会員企業数の集合体となっております。運輸物流、倉庫、小売、各種サービス(医療、食事、ソフト、人材派遣等々)といった一括りで括れない会員企業様のWORKING FIELDを敢えてまとめようとせず、皆様の情報共有の場として、未知の分野を知る、自社の経営活動との関係の構築⇒ビジネスチャンスの拡大に資する事も含めて、定期的に会合を開いております。毎回、皆様の幅広い御意見を頂戴しながら、業務運営面・生活面での青島の現況での問題を共有しつつ、闊達に意見交換のできる場を形成・提供することに努めています。

2008年度も、多種多様な会員企業様の「よろず報告」(企業紹介)を基調として様々な会員企業様の運営実態と問題に触れることができたこと、また、それらに対する皆様からの参考意見の提示、或いは逆に経営ヒントに資したことなど少なくとも、他方、みずほコーポレート銀行様のご好意・ご配慮により、中国での企業経営に係る喫緊のテーマでの講演会を開催することで、非常に有意義な勉強の場となったこと、等等、本会の運営目的に叶う結果が参加会員企業の皆様に得られたものと確信いたします。

②活動内容

- ・第1回 7月5日(土) 場所:クラウンプラザホテル会議室
議 題:①日本人会近況報告
②会員企業からの「よろずご報告」(海曼商務諮詢有限公司様)
③青島ホテルの現状のお話と質疑応答(シャングリラH楠様、コプソンH神田様)
④その他報告・連絡事項
- ・第2回 9月27日(土) 場所:青島海情大酒店会議室
講演会:第1部「中国でのリスクと保険手配についてー各種損害保険の上手な使い方」
講演者=上海共立保険經紀有限公司 鈴木 智晴 総経理
第2部「中国ビジネストレンドー広がる都市化の波と郊外型ビジネス」
講演者=みずほコーポレート銀行(中国)有限公司 中国アドバイザー一部 吉川部長
- ・第3回 3月21日(土) 場所:クラウンプラザホテル会議室 出席者 35名
議 題:①日本人会近況報告
②会員企業様からの「よろずご報告」
(上海威爾比医療諮詢有限公司青島事務所様、阿爾卑斯科技(青島)有限公司様)
③その他報告・連絡事項

③次年度への課題(抱負)

2009年度も引き続き、上記1.の運営目的に添った形で部会を運営します。昨年秋からの世

界金融危機・景気市況低迷の出口が不透明な中、会員企業様の経営活動にも厳しい状況が予想されますが、更に部会の頻度・内容に厚みを持たせながら、情報共有の場として、皆様の経営活動に少しでも資することのできる部会を形成して行きたいと考えております。併せて、部会出席者の拡大、OUTDOORでの部会（企業見学、産業地区視察など）を実現すべく会員企業の皆様と検討して行きたいと考えております。

4) 食品部会

①2008年度開催実績

- ・第1回：7月18日 場所：国敦大酒店 人数：69名
議題：①ニトロフuran問題について
②日本政府の食品安全問題に対する取組
③会員企業発表
- ・第2回：10月21日 場所：麗晶大酒店 人数：約120名
議題：セミナー「食品と水の安心と安全の確保とその対策」
- ・第3回：11月20日 場所：クラウンプラザホテル 人数：約130名
議題：セミナー&パネルディスカッション「AIB手法による工場管理と中国食品の安全問題」

②2008年度活動報告

2008年は食品部会会員企業にとって大変な1年であったと思います。中国の食品問題が年間を通して日本で報道され、それに対する中国政府の対応もかなり厳しいものがありました。その中で食品部会としては日本政府の取組状況、2回の食品安全にかかわるセミナーを通して共通の懸案について話あってきました。

③2009年度の活動方針

2009年6月1日から施行される「中国新食品安全法」への対応・対策と中国国内販売への対応・対策、そして会員企業の安全・安心を確保する為のセミナーを開催していきます。

以上

(3) 2008年度 青島日本人会生活文化会 活動報告

① 行事活動

1) 10月26日 「青島日本人会運動会」

完成したばかりの日本人学校の体育館において開催しました。180名の方が参加し、出身地による地域対抗で綱引き、玉入れなどの各種競技に熱戦を繰り広げました。景品をご提供いただいた皆様、ご協力いただいた関係各位に、深く御礼申し上げます。

2) 1月17日 「新年会」

青島日本人会最大イベントの新年会を香格里拉大飯店にて開催。今年は変面、マジック、雑技を舞台にし、約450名の会員、家族の皆様が参加して賑やかに過ごしました。

例年の豪華景品を巡っての抽選会は、ジャンケンも入って白熱化し、大盛況のうちに会を終えることができました。景品をご提供いただいた皆様、ご協力いただいた関係各位に、深く御礼申し上げます。

②ちんたお文庫活動報告

1. 総括（役員名含む）

前期役員 書記：大関直子、栗原千恵 会計：楳田陽子

後期役員 書記：幸前絹枝、後藤光代 会計：荒木春江

海天大酒店内1階にあるちんたお文庫において、ボランティアメンバーによって、本の貸し、蔵書の管理、新規会員への対応を行っています。

今年度は帰国によるボランティアメンバー数の減少があり、開館予定日にボランティアメンバーの都合を合わせる事が難しくなる状況がありました。

また、蔵書の増加にともない、書架の場所を多くとっていたビデオテープの処分を進めました。

2. 活動内容（資料的に○月○日、場所、参加者等。）

1) 5月8日 日本人会 生活文化会担当者との話し合い

（開館時間、場所、ビデオ、ボランティア等について）

2) 7月3日 防犯のため セコムさんと打ち合わせ

7月5日 セキュリティーシステム設置

3) 定例会(年2回)

（新ボランティア及び新役員の紹介、ビデオの処分、問題点の話し合い）

4) 毎月の利用者数、新規本(寄贈本)の管理・報告

年間利用者のべ数 642名 寄贈本年間総数 328冊

新規会員年間総数 55名

5) ボランティアメンバーの勧誘

6) 重複本 古くなった本の処理

7) ビデオテープの処理

8) 延滞者への連絡(手紙 電話)

3. 次年度への課題（抱負）

これまで通り木、金、土曜日 13～16 時までの開館を維持できるように、ボランティアメンバーの増員が必要だと思います。現状ではボランティアのほとんどが奥様方であり、都合のつく日時に偏りがありました。今後は学生や社会人の方のボランティア参加が増える事を期待します。

③各同好会および婦人会活動報告

1) ゴルフ同好会

会長：鶴島敏章（連絡先 13969626810）

2008年	開催日	開催地	参加人数	備考
第76回	4月13日	青島華山	54	JAL
第77回	6月14日	海陽旭宝	55	JUSCO
第78回	7月12日	青島華山	48	
第79回	9月13日	膠南東方	47	
第80回	11月8日	青島華山	52	ANA
		合計	256	

2008年度も例年通り5回のコンペを開催し、毎回50名前後の参加者が熱戦を繰り広げました。特に冠大会を支援していただいたスポンサー3社に厚く御礼申し上げます。また冠大会以外でも数社から賞品提供をいただきました。今後ともご協力・ご協賛をお願い致します。

ここ数年ゴルフ場の大口予約が取りにくく大型コンペの開催が難しくなるなか、スタート時間を早めに設定せざるを得なくなり参加者の皆さんにご迷惑をおかけしました。昨年末あたりから状況は改善してきており、2009年度はより多くの皆さんが参加できるようなコンペを企画して参ります。以上

2) ソフトボール同好会

i：総括

08年度のソフトボール同好会（以降SB会）は、会長：中野浩二、副会長：三浦建治、事務局長：井藁博英を三役とし、また会計、準備、広報と役員を選出、運営されました。年会費を500元とし、会員数は2008年度終了時には65名。

当初は台東サッカー場にて活動しておりましたが、改装工事を行うとの通達があり、5月から海洋大学グラウンドへ活動場所を変更。

2チーム制で2試合行っていましたが、参加人数が増え、3チームで3試合行う方式に変更。簡易バックネットも購入し毎試合設営。また黄島にある学校との対抗戦（実際は実力差があったため、最後はSB会が学生を指導するという形になった）が初めて行われました。

また、オリンピック野球観戦ツアーも企画。（弾丸ツアー0泊3日）行きのバスでは女子ソフトの優勝で歓喜、帰りのバスでは星野JAPANの不甲斐なさに涙しました。

ii：活動内容

2月24日～12月21日のほぼ毎週、9時～12時まで、合計42回（日）活動。延べ人数は1500名前後。毎試合、打撃成績や投手成績を記録し、各選手にメールにて送信。仕事で出席出来なかった方や、帰国、移動された方々にも臨場感を味わって頂こうと成績を配布し、好評を得ております。

月に1度、協賛企業様のご厚意で冠杯を実施（8年度実績7社）、他にはオフシーズンのボーリング大会、春の花見、夏のBBQ、年末の総会（忘年会）等行っております。

iii：09年度の課題

「青島生活の充実」を目標に、皆で楽しく、怪我の無いように活動していきたいと思っています。

9年度は既に、会長：井藁博英、副会長：川崎努、事務局長：大森郁夫既、他役員（事務局、会計、運営、企画）を中心に活動は始まっており、シーズン開始の2月22日は過去最大参加人数の50名になりました。怪我防止のため準備体操を充実させるべく集合時間を8時30分に早めております。1試合50分、5回戦で3試合行い、ホワイトタ

イガー、ピンクパンサーズ、パープルサムライズの 3 チームによるリーグ戦を行っております。また今年も過去に行われた交流戦のように（05年： 杭州チーム、07、08年：長崎バッテンチーム）大連や上海のチーム等とも試合を行いたいと思っております。

以上

3) 写真同好会活動報告

会長：不動孝（連絡先 15806571118）

2008年	開催日	開催地	撮影会他
1月度	1月20日	1月例会(トールズキッチン)	大根祭り撮影
2月度	2月17日	2月例会(トールズキッチン)	
3月度	3月16日	3月例会(トールズキッチン)	十梅庵梅花撮影
4月度	4月20日	4月例会(トールズキッチン)	
5月度	5月18日	5月例会(トールズキッチン)	
6月度	6月15日	6月例(キャノン)	青島モーターショー撮影
7月度	7月20日	7月例会(千石)	
8月度	8月17日	8月例会(千石)	新規オープンゴルフ場撮影
9月度	9月21日	9月例会(キャノン)	
10月度	10月19日	10月例会(千石)	JUSCO 写真展(10/17~27) 八大関撮影
11月度	11月9日	11月例会(千石)	泰山撮影旅行(11/15~16)
12月度	12月21日	12月例会(キャノン)	忘年会 (役員改選)

毎年行う予定の世界遺産旅行と日中合同写真展を行うことが出来、また2008年からはキャノン様のご好意により、月例会の開催をキャノン青島事務所にて行うことができ充実した同好会活動が出来るようになりました。

また、メンバーのモチベーションアップとレベルアップを図る目的で、月例会には各自の作品品評会と順位付けをしております。

2009年度は活動結果を形にしていくため、メンバーの作品を写真集にして残して行きたいと考えて おります。

以上

4) テニス同好会活動報告

会長：橋本 要（連絡先 13206498553）

2008年度の活動内容におきましては、例年通り、大型連休中以外は、毎週日曜日 AM9:30～PM12:30、銀都花園のテニスコートで練習を実施しました。現在、登録会員数は 35 名で、常時 20 名前後のメンバーで、2～3 面のコートを使用して、練習に励んでおります。今年度は、例年に比べると帰国される方が多く、メンバーの入れ替わりの激しかった 1 年でした。

イベントとしては、春と秋の 2 回、韓国人チームとの定例対抗戦を行い、いずれも大きく負け越し。対外試合としては、5 月に日中韓の国際交流試合（個人戦）、9 月には団体戦に参加し、結果としては両試合とも最高ベスト 8 にとどまり、悔しい結果に終わりました。

今年度の大きな収穫としましては、これまで男性中心という雰囲気があったのですが、女性のメンバーも少しずつ増え、且つ実力も上がっており、全体的に活気が出てきました。

2009年度の抱負としましては、特に女性の会員数を増やし、全体で 40 名以上にしたいと考えております。また、08 年よりも対外試合での順位を上げることです。

以上

婦人会活動報告

会員数： 45 名（2009 年 3 月現在）

毎年 4 月に行われる総会、年 3 回の定例会、12 月に行われる忘年会が活動の中心です。定例会は昼食をとりながら会員相互の紹介をしたり、親睦を深めたり、情報交換などを行っています。また新しく青島に来られた方が 1 日でも早く青島の生活に慣れるように、お世話をしています。

以上

第1号議案

(4) 2008年度青島日本人学校支援委員会活動報告

青島日本人学校支援委員会

委員長 恩 賀 力

1. 新校舎完成による設備支援
正会員企業、個人に広く募り学校設備の充実に役立てた。
2. 現地採用教員・職員の採用支援
現地採用教員・職員の面接、採用条件整理等に協力
3. 青島日本人学校に対する運営資金提供
青島日本人会予算から、青島日本人学校に寄付を実施（2008年度：10万円）
4. その他の学校の日常活動支援・協力

<青島日本人学校の現況>

イ. 児童・生徒数

2009年4月 現在：小学部 69名、 中学部 19名、 合計 88名
参考 2004年4月：6名
2005年4月：22名
2006年4月：61名
2007年4月：77名
2008年4月：89名

ロ. 教職員 ・校長：加藤 文昭
・教員：文部科学省派遣教諭（校長含む）9名、現地採用常勤講師3名
・事務員：2名

ハ. 施設 ・青島市北区同興路76号

ニ. 入学条件等

- ・入学資格：青島市及びその周辺に在住する日本国籍を有する子女
- ・入学金 10,000元、授業料 月額3,000元（スクールバス費用は、別途必要。）

ホ. ホームページ

<http://www.qingdaojs.org>

以上

*** 資料 1**

会員動向	
2008年4月1日	348
入会	40
退会	33
2009年3月31日	354

退会の主な理由	
連絡未通	12
日本人不在による	11
撤退	9
その他(統合)	1

*** 資料 2**

査証申請のための会員証明	
08年度発行した公司	91
延べ枚数	397

*** 資料3**

四川大地震義捐金	
企業99社	
個人19人	
321,000円	

*** 資料4**

学校新校舎設備支援	
企業、個人合わせて39件	
69,900円+10万円	

*** 資料5**

新春座談会における発言要旨	
①	都市開発計画に伴う立ち退き移転問題への補償・配慮

- ② 治安の面での心配。公安の親切な対応のお願い
- ③ 夕刻のタクシー事情の改善
- ④ 路上駐車と渋滞への対処
- ⑤ 内需志向の外資系企業に対しての支援、優遇策の検討をお願いしたい。

第2号議案

青島日本人会 2008 年度 会計報告

(2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部
1. 前年度繰越金	308,052.73	1. 会議費 総会(09 年度前払金2万円含む) 新年会
2. 会費 正会員 354 名、個人会員 104 名 (内前受金41,700 円)	445,200.00	2. 商工部活動費
3. 臨時会費 ・総会懇親会会費、 216 名×150 円 ・新年会懇親会会費、 399 名×200 円	112,200.00	3. 生活文化部活動費 ・行事補助(オリンピック、運動会) ・ちんたお文庫支援
4. 利息	1,548.01	4. 日本人学校支援費
5. その他	714.00	5. 事務局費
		6. 次年度繰越金 (うち 前受け会費 12,500 円)
[合 計]	867,714.74	[合 計]

第3号議案

監 査 報 告

青島日本人会規約に則り、第18期(2008年4月1日～2009年3月31日)の会計検査を関係帳簿・信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

第4号議案

青島日本人会規則改正案
2009年4月18日改正

改正箇所：太字部分、削除箇所：取消線部分~~＝~~、追加箇所：下線部分 。

第1条 (名 称)

本会は、青島日本人会と称する。

第2条 (会の目的)

本会は、中華人民共和国青島市およびその周辺に在住する日本人及び日系企業が、安全かつ快適に生活すると共に円滑な企業活動を継続することに資するべく、会員相互の親睦・福利の向上を図り、併せて生活並びに企業活動等に必要な社会、文化、習慣、法律・会計・労務制度等の知識向上の機会を提供することを目的とする。

第3条 (非営利性・公平性)

本会は、前条の目的を達成するため、第11条に定める組織運営並びに活動により、会員全体への公平な対応及び還元を図るものとし、営利を目的とする活動及び特定の個人、法人、その他の団体の利益を目的とする活動並びに運営資金の支出は行わない。活動に際しては、関連法令の規定を遵守するものとし、~~又~~独占禁止法等で規定される違法な情報交換等の活動は~~行~~ってはならない ~~行~~わない。

第4条 (会員資格)

本会の会員資格は、次のとおりとする。

1. 正会員 青島市及びその周辺に所在する日系企業とする。

~~なお~~各企業は原則として日本国籍を有する者を1名、代表者として選任する。

~~また~~代表者は原則として日本国籍を有する者を代理人として指名できる。

2. 賛助会員 正会員の企業に所属し、日本国籍を有する者及びその成人家族とする。

3. **特別個人** 会員 正会員の企業に所属せず、青島市及びその周辺に居住し、日本国籍を有する個人とする。

第5条 (会計年度・理事及び監事の任期)

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

また、第9条に定める理事及び監事の任期も同一期間とする。

第6条 (入・退会手続き)

入会を希望する者は、所定の書面により申し込み、理事会の承認を得なければならない。

退会を希望する会員は、その旨を書面により届け出、会費を完納の上、退会することができる。

第7条 (総 会)

総会は、定時総会及び臨時総会とし、定時総会は、毎年4月に開催する。

臨時総会は、会長が必要と認める場合、または書面により正会員の5分の1以上の要求がある場合に、会長がこれを招集する。なお、特定案件打ち合わせ、講演会、親睦会等の会合は、上記とは別に随時開催することができる。

第8条 (総会決議事項)

総会は、正会員総数の2分の1以上の出席(委任状を含む。)をもって成立し、出席者の3分の1以上の賛成を得て、下記事項を決議する。

1. 理事及び監事の選任及び解任

2. 本規約の改正

3. 活動報告及び会計報告の承認

4. 活動計画及び会計予算の承認

5. その他の重要事項

なお、前年度の活動報告及び会計報告、翌年度の活動計画及び会計予算は、4月開催の定時総会の議案としなければならない。

また、第4条に定める賛助会員および **特別個人** 会員は、総会及び臨時総会に出席できるが、議決権は有しない。

第9条 (理事・理事会・監事)

1. 本会には、~~10名~~ 25名以内の理事で構成する理事会を置く。

2. 会長 1 名、副会長 ~~若干名上限 7 名~~ 7 名以内、会計担当理事及び事務局担当理事各 1 名を、理事の互選により選出する。
3. 会長は、必要に応じて理事会を開催し、~~総会決議事項以外の全ての事項を決定し、本会の運営を行う~~ する。
4. 理事会は総会決議事項の以外総ての事項を決定し、本会の運営を行う。
- ~~4. 5.~~ 本会には監事 2 名を置く。
なお、監事は必要に応じて理事会に出席することができるものとする。
- ~~5. 6.~~ 理事及び監事は正会員の中から定時総会において選出され、任期は 1 年とする。
- ~~6. 7.~~ 理事及び監事がその任期中に帰国またはその他の事情により空席となる場合、理事会において交替者を決定し、定時総会または臨時総会で報告する。
8. 本会は名誉会長を置くことができる。名誉会長は理事会が推薦し、会長が委嘱する。
9. 本会は顧問を置くこととする。顧問は日本国駐青島総領事とする。

第 10 条 (理事・監事の業務)

理事及び監事は、次の業務を担当する。

1. 会長は、本会の業務を統括し、青島日本人会を代表する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はその業務を代行する。
3. 会計担当理事は、~~会費の収受、保管を含む会計業務を担当する~~ 会計業務を所管する。
4. 事務局担当理事は、~~事務局長として理事会の決議及び会長の指示に基づき本会の運営を行う~~ 事務局の業務全般を所管する。
5. 全ての副会長及び理事は、上記の他、必要に応じ第 11 条に定める業務を行う。
6. 監事は、必要に応じて理事会に対し助言を行うと共に会計報告の監査を実施する。
7. 名誉会長は本会の諮問に応じる。また、理事会に出席して意見を述べることができる。
8. 顧問は本会の諮問に応じる。又、理事会に出席して意見を述べるができる。

第 11 条 (組 織)

本会は、理事会の下に、「商工会」、「生活文化会」並びに「青島日本人学校支援委員会」の組織を置き次の活動を行う。

~~なお、~~当該各会の会長及び下記の各部会の部会長には、本会会長が指名する副会長または理事が就任するものとする。

1. 「商工会」は、第 4 条の正会員によって構成され、原則半年に 1 回の全体会議を開催する。
2. 「商工会」の下に、食品部会、繊維部会、機械・電機部会、流通・サービス部会の 4 部会を設置し、経営知識向上の為の活動を行う。なお、正会員は必ずいずれかの部会に所属するものとし、~~また~~重複して所属することができる。
3. 「生活文化会」は、本会のレクリエーション活動を運営するほか、同好会活動、婦人会活動、ちんたお文庫、その他の生活関連活動を支援する。
4. 本会の同好会は、別途生活文化会定める「同好会管理規定」により認定され、活動に際しては、同管理規定に従うものとする。
- ~~4. 5.~~ 「青島日本人学校支援委員会」は、本会が青島日本人学校の設立母体であることを踏まえ、同校の健全な運営にあらゆる側面から協力・支援する企画を立案し、理事会または総会の了承の下、実施する。
なお、青島日本人学校支援委員会の組織・運営等については、別途「青島日本人学校支援委員会規則」を総会の決議を得て定めるものとする。
6. 「事務局」は理事会の決議及び会長の指示に基づき、本会運営にかかる事務全般を行う。
会長は事務局長を選任する。

第 12 条 (会費・特別会費)

本会の運営に必要な資金は会費によるものとし、正会員及び特別会員の会費の額

は次のとおりとするが、総会の決議を経て改定できるものとする。

1. 正会員の会費は年額 1,200 元とし、原則として4月に納入する。但し、4月、10月に各 600 元を分割納入することが出来る。また、年度途中の入会者の会費は、入会月から年度末までの月数に 100 元を乗じたものとし、正会員が年度途中で退会する場合、会費は返却しない。なお、会費の滞納が1年以上の会員は、退会したものとみなす 督促しても滞納が1年以上の会員は、退会したものとみなし、会員名簿から抹消する。

2. **特別 個人** 会員の会費は年額 100 元とし、原則として4月に年会費を納入する。

また、年度途中の入会者で、7ヶ月以上の期間がある場合は 100 元、6ヶ月未満の場合は 50 元を納入するものとし、1年間有効（翌年 3 月 31 日まで）の会員証を発行する。**特別 個人** 会員が年度途中で退会する場合、会費は返却しない。

3. 前 2 項以外に、特定の事業実施のため、総会で出席者の 3 分の 2 以上の賛成を得て、正会員及び **特別 個人** 会員に対し、特別会費の納入を要請することができる。

なお、当該特別会費を納入しない会員が、その事により不利益を受けることは無い。

また、行事運営費、懇親会費用として、各行事、懇親会の参加者から別途参加費を徴収することがある。

第 13 条 （会の解散）

本会は、総会の決議により解散することができる。

また、本会が解散する場合、残余財産は総会の決議に従い精算されるものとする。

付則 本改正規約は、2002 年 4 月 21 日より施行する。

付則 本改正規約は、2003 年 4 月 19 日より施行する。

付則 本改正規約は、2004 年 4 月 25 日より施行する。

付則 本改正規約は、2005 年 4 月 16 日より施行する。

付則 本改正規約は、2006 年 4 月 15 日より施行する。

付則 本改正規約は、2007 年 4 月 14 日より施行する。

付則 本改正規約は、2008 年 4 月 19 日より施行する。

付則 本改正規約は、2009 年 4 月 18 日より施行する。

2009年度 青島日本人会 理事及び監事 (案)

役職	氏名	現職
理事	阿川 裕 <small>あがわ ゆたか</small>	青島永旺東泰商業有限公司 総経理
理事	浦上 岳志 <small>うらがみ たけし</small>	青島松下電子部品（保税区）有限公司 総経理
理事	大谷 吉治 <small>おおたに よしはる</small>	株式会社加卜吉 中国支配人
理事	恩賀 力 <small>おんが つとむ</small>	新日清製粉食品（青島）有限公司 総経理
理事	蔭島 末彦 <small>かげしま すえひこ</small>	青島日東餐飲有限公司 総経理
理事	加藤 仁志 <small>かとう ひとし</small>	三井物産（青島）有限公司 総経理
理事	兼重 清史 <small>かねしげ きよし</small>	山口銀行青島支店 支店長
理事	菊原 俊樹 <small>きくはら としき</small>	在青島日本国総領事館 領事
理事	北野 重時 <small>きたの しげとき</small>	青島西科姆電子安全有限公司 総経理
理事	新長 暁 <small>しんちよう さとし</small>	全日本空輸株式会社 青島支店 支店長
理事	高橋 充夫 <small>たかはし みつお</small>	佳能（中国）有限公司 青島分公司 総経理
理事	田島 譲 <small>たじま ゆずる</small>	東麗即発（青島）染織股份有限公司 総経理
理事	飛坂 有三 <small>とびさか ゆうぞう</small>	三菱商事（青島）有限公司 総経理
理事	藤江 耕一 <small>ふじえ こういち</small>	日本航空公司 青島支店 支店長
理事	北条 尚子 <small>ほうじょう なおこ</small>	日本貿易振興機構（JETRO）青島代表処 所長
理事	三木 武 <small>みき たける</small>	青島萩原工業有限公司 総経理
理事	吉井 良 <small>よしい りょう</small>	積水（青島）塑膠有限公司 総経理
理事	吉田 暁 <small>よしだ さとる</small>	みずほコーポレート銀行（中国）有限公司青島支店 支店長
理事	山口 和里 <small>やまぐち かずさと</small>	青島秀愛食品有限公司 総経理
理事	渡部 英司 <small>わたなべ えいじ</small>	伊藤忠（青島）有限公司 総経理
監事	折居 忠寿 <small>おりい ただひさ</small>	青島寿技研商貿有限公司 総経理
監事	羽鳥 一郎 <small>ほとり いちろう</small>	青島丸魯大食品有限公司 董事長兼総経理

2009 年度活動計画（案）

1. 全 般

- (1) 青島市政府関係機関等との交流を強化し、円滑な企業活動環境の整備および青島在住日本人の生活環境向上のための提言活動への取り組み
- (2) 青島総領事館設置と連携・協力し、活気あるジャパンフェアの実行。
- (3) 青島日本人学校運営にかかわる支援
- (4) 青島日本人会ホームページの充実
- (5) 安全情報等各種情報の収集・発信
- (6) 他国・地域駐在員組織との交流・情報交換

2. 商工会

- (1) 「機械・電機・化学部会」「流通・サービス部会」「繊維部会」「食品部会」の業種別4部会の情報交換、セミナー開催等の活動に加え、地域別関連情報の交換・交流も併せて実施
- (2) 商工会全体活動の充実
(「危機管理」に関するシリーズセミナー等)
- (3) 政府機関、他国・地域同様組織との交流
- (4) JETRO と連携し、事業投資環境整備に向けて、関係諸機関への提言および給与アンケート調査の実施

3. 生活文化会

- (1) 各種親睦活動・生活文化関連活動の主催及び支援
- (2) 新年会の企画実施
- (3) ちんたお文庫の活性化にむけた取り組み
- (4) 各同好会及び婦人会への活動支援
- (5) 青島生活情報の配信
- (6) 青島の文化・歴史についての調査・研究に対する支援

4. 青島日本人学校支援委員会

- (1) 青島日本人学校の各種行事、運動会に対する協力支援
- (2) 青島日本人学校の運営に対する支援
- (3) その他、学校の要請に基づく課題に対応

以上

2009 年度収支予算案

(2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)

2009 年 4 月 18 日

(単位: 人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	360,289	1. 会議費	160,000
		総会	60,000
		新年会	100,000
2. 2008 年度会費収入	428,000	2. 商工会活動費	60,000
法人 350 社、個人 80 名		全体会	36,000
		部会	24,000
3. 臨時会費収入	97,000	3. 生活文化関連費	25,000
・総会懇親会会費	27,000	婦人会	5,000
(150 元 × 180 名)		ちんたお文庫	5,000
・新年会懇親会会費	70,000	運動会	5,000
(200 元 × 350 名)		生活情報(仮)配信	10,000
		4. ジャパンフェスタ関連行事	60,000
		5. 特別講演会の開催	30,000
		6. 情報整理(H. P改修等)	50,000
		7. 日本人学校支援費	100,000
		8. 事務局費	250,000
		9. 予備費	150,289
【合計】	885,289	【合計】	885,289